

























つしん景況レポート

作州地域中小企業景気動向調査 2015. 1~3月期 第13回

【特別調査—「まち・ひと・しごと創生」と中小企業】

津山信用金庫は、作州地域内250企業の経営者のご協力のもと、ここに第13回つしん景況レポートを発刊いたします。作州地域の景況感を経営者の皆様方と共有し、皆様方のよきパートナーとして地域の繁栄に努めてまいります。

■概況:1月~3月の業況は曇、4月~6月の見通しも曇■

【地域別天気図】	2014年 1月~3月	2014年 4月~6月	2014年 7月~9月	2014年 10月~12月	今期実績 1月~3月	来期見通し 4月~6月
作州地域全体						
津山鏡野地域						
真庭地域						
美作勝央地域						

●作州地域全体では、今期(2015年1月~3月)の業況判断DIは、年末需要の反動で今期は前期比18.7ポイント下降し、プラス1.6となった。来期(2015年4月~6月)はプラス6.4と業況感が若干改善する見通しとなっている。

●地域別には、津山鏡野地域は前期比18.6ポイント下降しプラス3.8、真庭地域は前期比34.0ポイントと大幅に下降しマイナス14.0、美作勝央地域は前期比2.2ポイント下降しプラス11.4となった。来期は、津山鏡野地域プラス10.3、真庭地域プラス8.0と景況感が改善するが、美作勝央地域マイナス9.1と業況感が悪化する見通しとなっている。

業況判断DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い	普通	悪い	DI	良い	普通	悪い
作州地域全体	20.3	32.0	37.6	30.4	1.6	28.4	49.6	22.0	6.4
津山鏡野地域	22.4	33.3	37.2	29.5	3.8	29.5	51.3	19.2	10.3
真庭地域	20.0	24.0	38.0	38.0	▲14.0	34.0	40.0	26.0	8.0
美作勝央地域	13.6	36.4	38.6	25.0	11.4	18.2	54.5	27.3	▲9.1

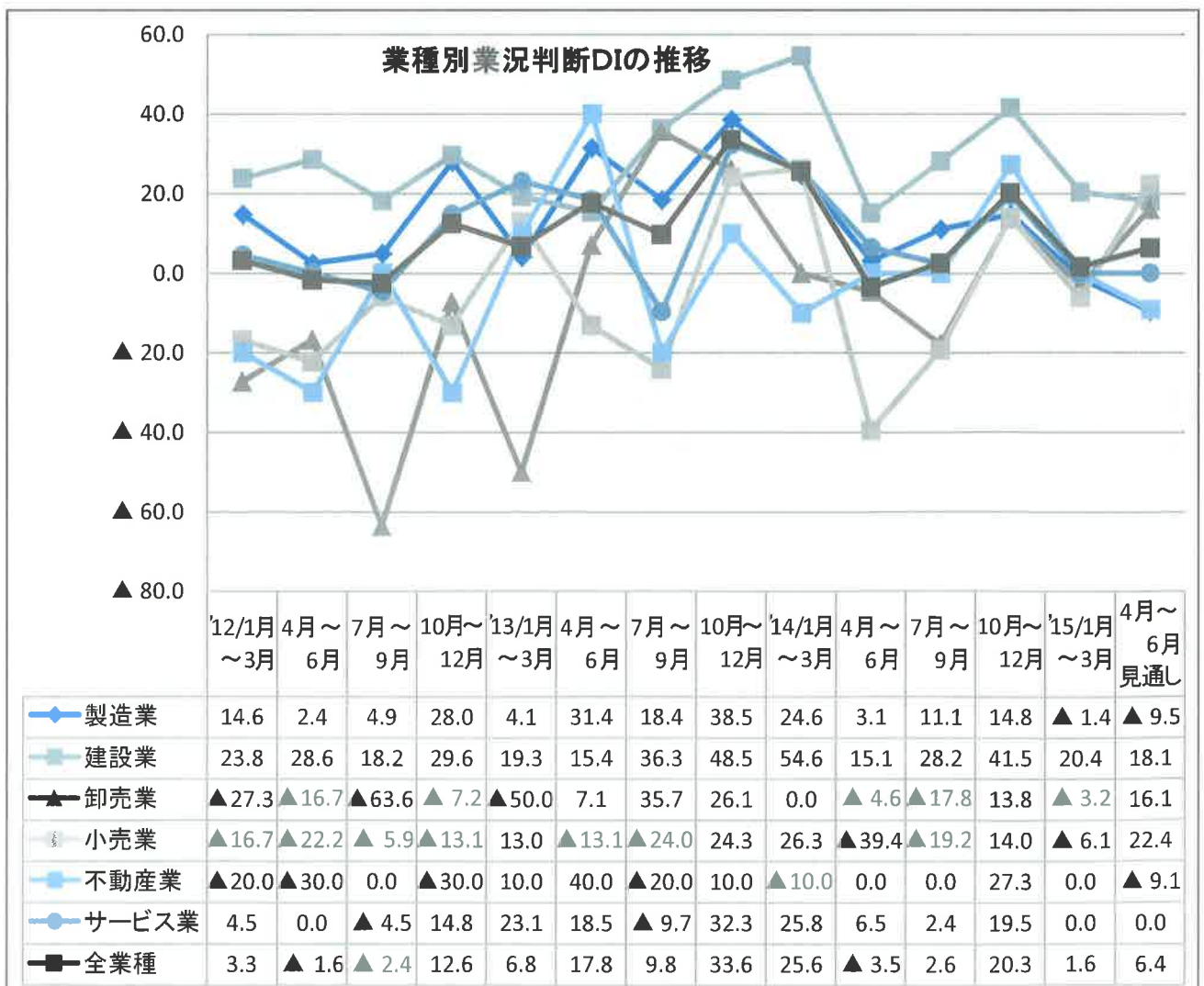
※DIとは、Diffusion Index の略で、「良い(または増加、上昇、楽)」と回答があった企業数の割合(%)から「悪い(または減少、下降、苦しい)」と回答があった企業数の割合(%)を差し引いた値

■天気図のご説明■

DI	30以上	10以上~ 30未満	0以上~ 10未満	▲10以上 ~ 0未満	▲30以上 ~ ▲10未満	▲30未満
天気図						

■全業種総合■

【業種別 天気図】	2014年 1月～3月	2014年 4月～6月	2014年 7月～9月	2014年 10月～12月	今期実績 1月～3月	来期見通し 4月～6月
製造業						
建設業						
卸売業						
小売業						
不動産業						
サービス業						
全業種						



全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	20.3	32.0	37.6	30.4	1.6	28.4	49.6	22.0	6.4
売上	36.2	32.4	34.0	33.6	▲ 1.2	35.6	34.8	29.6	6.0
収益	28.1	27.6	40.4	32.0	▲ 4.4	31.2	41.2	27.6	3.6

- 業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)はプラス1.6となり、前期比18.7ポイント下降した。来期(2015年4月～6月)見通しはプラス6.4となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス1.2となり、前期比37.4ポイント下降した。来期見通しはプラス6.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス4.4となり、前期比32.5ポイント下降した。来期見通しはプラス3.6となっている。

全業種	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI	楽・過剰	変らず・適正	苦しい・不足	DI
資金繰り	6.1	12.4	77.6	10.0	2.4	9.6	85.2	5.2	4.4
雇用(人手過不足)	▲ 36.9	4.8	59.2	36.0	▲ 31.2	5.6	65.2	29.2	▲ 23.6
設備投資	▲ 11.5	4.6	82.4	13.0	▲ 8.4	2.9	84.9	12.1	▲ 9.2

- 資金繰り判断DIは、今期(2015年1月～3月)はプラス2.4となり、前期比3.7ポイント下降した。来期(2015年4月～6月)見通しはプラス4.4となっている。
- 人手過不足判断DIは、今期はマイナス31.2となり、前期比5.7ポイント改善した。来期見通しもマイナス23.6となっている。今期は人手不足感がやや緩和された。
- 設備投資DIは、今期はマイナス8.4となり、前期比3.1ポイント改善した。来期見通しは引続きマイナス9.2となっている。「適正」と回答のあった企業は8割超となっている。

■ 製造業 ■

製造業全般	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	14.8	35.1	28.4	36.5	▲ 1.4	24.3	41.9	33.8	▲ 9.5
売上	36.5	33.8	27.0	39.2	▲ 5.4	35.1	28.4	36.5	▲ 1.4
収益	18.9	27.0	32.4	40.5	▲ 13.5	29.7	39.2	31.1	▲ 1.4

- 製造業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比16.2ポイント下降し、マイナス1.4となった。来期(2015年4月～6月)見通しはマイナス9.5となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス5.4、来期見通しはマイナス1.4となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス13.5、来期見通しはマイナス1.4となっている。
- 製造業の内、その他製造業(金属製品製造業、木材・木製品製造業、農林業を除いたもの)の業況判断DIは、今期はゼロ、来期見通しもゼロとなっている。
- 材料価格の高止まりが収益を圧迫している。特に、食品製造業では材料価格が前期比5%～20%上昇するなど大打撃を受けているとの声が複数聞かれた。

製造業のうち： 金属製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変らず	悪い・減少	DI
業況	21.4	53.8	38.5	7.7	46.1	23.1	53.8	23.1	0.0
売上	21.4	46.2	38.5	15.4	30.8	15.4	46.2	38.5	▲ 23.1
収益	14.3	30.8	46.2	23.1	7.7	7.7	69.2	23.1	▲ 15.4

- 金属製品製造業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比24.7ポイント上昇し、プラス46.1となった。来期(2015年4月～6月)見通しはゼロとなっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス30.8、来期見通しはマイナス23.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス7.7、来期見通しはマイナス15.4となっている。
- 大手企業からは予算消化の為、年度内の納品依頼がある。地域内企業は納期に間に合わず、残業や土日出勤が増えているとの声が聞かれた。

製造業のうち： 木材・木製品製造業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	▲ 20.0	20.0	33.3	46.7	▲ 26.7	13.3	40.0	46.7	▲ 33.4
売上	26.6	26.7	26.7	46.7	▲ 20.0	33.3	20.0	46.7	▲ 13.4
収益	0.0	20.0	33.3	46.7	▲ 26.7	26.7	26.7	46.7	▲ 20.0

- 木材・木製品製造業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比6.7ポイント下降しマイナス26.7となった。来期(2015年4月～6月)見通しはマイナス33.4となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス20.0、来期見通しはマイナス13.4となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス26.7、来期見通しはマイナス20.0となっている。
- 消費増税の反動による住宅着工数の減少が続いており、構造材の需要が回復していない。リフォーム用の板材などは堅調との声が一部にあったが、収益確保に苦労しているとの声が多く聞かれた。

製造業のうち： 農林業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	25.0	27.3	18.2	54.5	▲ 27.2	18.2	45.5	36.4	▲ 18.2
売上	50.0	18.2	36.4	45.5	▲ 27.3	45.5	36.4	18.2	27.3
収益	8.3	9.1	54.5	36.4	▲ 27.3	36.4	54.5	9.1	27.3

- 農林業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比52.2ポイント下降しマイナス27.2ポイントとなった。来期(2015年4月～6月)見通しはマイナス18.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス27.3、来期見通しはプラス27.3となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス27.3、来期見通しはプラス27.3となっている。
- 農業で収穫期、林業で秋需が過ぎたため業況感が悪化している。

■ 建設業 ■

建設業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	41.5	40.9	38.6	20.5	20.4	29.5	59.1	11.4	18.1
売上	53.7	34.1	38.6	27.3	6.8	36.4	45.5	18.2	18.2
収益	34.2	20.5	54.5	25.0	▲ 4.5	29.5	47.7	22.7	6.8

- 建設業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比21.1ポイント下降しプラス20.4となった。来期(2015年4月～6月)見通しはプラス18.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス6.8、来期見通しはプラス18.2となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス4.5、来期見通しはプラス6.8となっている。
- 住宅建設を除いた建設業の業況判断DIは、今期はプラス12.0、来期見通しはプラス4.0となっている。
- 公共工事の受注残の減少により業況感が悪化しているとの声が聞かれた。

建設業のうち： 住宅建設	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	31.5	47.4	36.8	15.8	31.6	42.1	52.6	5.3	36.8
売上	47.3	21.1	57.9	21.1	0.0	52.6	36.8	10.5	42.1
収益	26.3	15.8	57.9	26.3	▲ 10.5	47.4	36.8	15.8	31.6

- 住宅建設業者の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期とほとんど変わらずプラス31.6となった。来期(2015年4月～6月)の見通しはプラス36.8となっている。
- 売上判断DIは、今期はゼロ、来期見通しは大きく改善しプラス42.1となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス10.5、来期見通しは大きく改善しプラス31.6となっている。
- 新築物件販売価格の低下とリフォーム中心の受注により売上が低下しているとの声が聞かれた。

■卸売業■

卸売業	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	13.8	22.6	51.6	25.8	▲ 3.2	29.0	58.1	12.9	16.1
売上	13.8	35.5	32.3	32.3	3.2	38.7	35.5	25.8	12.9
収益	17.2	32.3	41.9	25.8	6.5	35.5	38.7	25.8	9.7

- 卸売業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比17.0ポイント下降しマイナス3.2となった。来期(2015年4月～6月)見通しはプラス16.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス3.2、来期見通しはプラス12.9となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス6.5、来期見通しはプラス9.7となっている。
- 4月からの仕入価格上昇分は、その全てを価格転嫁するとの声が聞かれた。

■小売業■

小売業	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	14.0	30.6	32.7	36.7	▲ 6.1	40.8	40.8	18.4	22.4
売上	46.0	38.8	32.7	28.6	10.2	32.7	32.7	34.7	▲ 2.0
収益	52.0	38.8	30.6	30.6	8.2	30.6	38.8	30.6	0.0

- 小売業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比20.1ポイント下降しマイナス6.1となった。来期(2015年4月～6月)見通しはプラス22.4となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス10.2、来期見通しはマイナス2.0となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス8.2、来期見通しはゼロとなっている。
- 自動車小売業を除いた小売業の業況判断DIは、今期マイナス11.1、来期見通しはプラス27.7となっている。

小売業のうち： 自動車小売業	前期	今期実績			来期見通し				
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	7.2	35.7	42.9	21.4	14.3	28.6	50.0	21.4	7.2
売上	57.2	57.1	35.7	7.1	50.0	14.3	28.6	57.1	▲ 42.8
収益	50.0	50.0	28.6	21.4	28.6	14.3	35.7	50.0	▲ 35.7

- 自動車小売業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比7.1ポイント上昇しプラス14.3となった。来期(2015年4月～6月)見通しはプラス7.2となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス50.0、来期見通しはマイナス42.8となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス28.6、来期見通しはマイナス35.7となっている。
- 軽自動車税増税前の駆け込み需要を期待したが、例年通りの販売実績であったとの声が聞かれた。

■不動産業■

不動産業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	27.3	27.3	45.5	27.3	0.0	27.3	36.4	36.4	▲ 9.1
売上	27.3	36.4	36.4	27.3	9.1	45.5	27.3	27.3	18.2
収益	36.4	36.4	36.4	27.3	9.1	45.5	36.4	18.2	27.3

- 不動産業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期から27.3ポイント下降しゼロとなった。来期(2015年4月～6月)見通しはマイナス9.1となっている。
- 売上判断DIは、今期はプラス9.1、来期見通しはプラス18.2となっている。
- 収益判断DIは、今期はプラス9.1、来期見通しはプラス27.3となっている。
- 中心市街地での空き家率、空室率が上昇しており、家賃引下げに踏み切るオーナーがいるとの声が聞かれた。

■サービス業■

サービス業	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	19.5	26.8	46.3	26.8	0.0	19.5	61.0	19.5	0.0
売上	24.4	17.1	43.9	39.0	▲ 21.9	34.1	39.0	26.8	7.3
収益	14.6	17.1	51.2	31.7	▲ 14.6	29.3	43.9	26.8	2.5

- サービス業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比19.5ポイント下降しゼロとなった。来期(2015年4月～6月)見通しもゼロとなっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス21.9、来期見通しはプラス7.3となっている。
- 収益判断DIは、今期はマイナス14.6、来期見通しはプラス2.5となっている。
- 旅客業では、今期はツアー数が減り売上が減少した。来期は新運賃料金に完全移行することから運行日数の低下は予想されるが、運賃単価上昇により売上は増加するとの声が聞かれた。

サービス業のうち： 医療福祉業	前期	今期実績				来期見通し			
DI区分		DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少	DI	良い・増加	普通・変わらず	悪い・減少
業況	13.3	33.3	60.0	6.7	26.6	20.0	53.3	26.7	▲ 6.7
売上	13.4	13.3	60.0	26.7	▲ 13.4	26.7	33.3	40.0	▲ 13.3
収益	6.6	13.3	73.3	13.3	0.0	20.0	40.0	40.0	▲ 20.0

- 医療福祉業の業況判断DIは、今期(2015年1月～3月)は前期比13.3ポイント上昇しプラス26.6となった。来期(2015年4月～6月)見通しはマイナス6.7となっている。
- 売上判断DIは、今期はマイナス13.4、来期見通しはマイナス13.3となっている。
- 収益判断DIは、今期はゼロ、来期見通しはマイナス20.0となっている。
- 4月からの介護報酬改定に伴い、マイナス2%～6%の売上ダウンが見込まれ、収益確保のため職員のパート化を図るなどの対応策を考えているとの声が聞かれた。

■ 昨年同期比較売上高・収益 ■

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	29.7	18.9	51.4	▲ 21.7
建設業	38.6	34.1	27.3	11.3
卸売業	32.3	29.0	38.7	▲ 6.4
小売業	22.4	26.5	51.0	▲ 28.6
不動産業	9.1	72.7	18.2	▲ 9.1
サービス業	31.7	43.9	24.4	7.3
総計	29.6	30.8	39.6	▲ 10.0

業種別	増加	変わらず	減少	DI
製造業	25.7	18.9	55.4	▲ 29.7
建設業	31.8	43.2	25.0	6.8
卸売業	32.3	38.7	29.0	3.3
小売業	22.4	30.6	46.9	▲ 24.5
不動産業	9.1	72.7	18.2	▲ 9.1
サービス業	29.3	48.8	22.0	7.3
総計	26.8	35.2	38.0	▲ 11.2

業種別	増加	変わらず	減少	DI
卸売業	25.8	71.0	3.2	22.6
小売業	28.6	53.1	18.4	10.2
総計	27.5	60.0	12.5	15.0

- ① 昨年同期(2014年1月～3月)比較売上高DIは、全業種ではマイナス10.0となった。
 ② 昨年同期比較収益DIは、プラスとマイナスの業種が半々となり、全業種でマイナス11.2となった。
 ③ 昨年同期比較販売価格DIは、卸売業プラス22.6、小売業プラス10.2となった。

■ 販売価格 ■

販売価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	▲ 5.4	8.1	75.7	16.2	▲ 8.1	13.5	77.0	9.5	4.0
建設業	4.9	15.9	70.5	13.6	2.3	11.4	77.3	11.4	0.0
卸売業	3.5	19.4	77.4	3.2	16.2	22.6	74.2	3.2	19.4
小売業	8.0	18.4	71.4	10.2	8.2	20.4	73.5	6.1	14.3
不動産業	0.0	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1	9.1	81.8	9.1	0.0
サービス業	14.6	9.8	87.8	2.4	7.4	9.8	75.6	14.6	▲ 4.8
総計	3.6	12.8	76.8	10.4	2.4	14.8	76.0	9.2	5.6

● 販売価格DIは、今期は、製造業と不動産業がマイナスとなったが、全業種ではプラス2.4となった。来期見通しは、サービス業がマイナスとなるが、全業種ではプラス5.6となっている。

■ 仕入価格 ■

仕入価格DI	前期	今期実績				来期見通し			
		DI	上昇	変わらず	下降	DI	上昇	変わらず	下降
製造業	48.6	27.0	59.5	13.5	13.5	20.3	77.0	2.7	17.6
建設業	53.7	43.2	54.5	2.3	40.9	38.6	61.4	0.0	38.6
卸売業	27.6	32.3	64.5	3.2	29.1	45.2	51.6	3.2	42.0
小売業	4.0	28.6	57.1	14.3	14.3	28.6	63.3	8.2	20.4
不動産業	0.0	0.0	90.9	9.1	▲ 9.1	9.1	72.7	18.2	▲ 9.1
サービス業	14.6	19.5	73.2	7.3	12.2	17.1	82.9	0.0	17.1
総計	30.1	28.4	62.4	9.2	19.2	27.2	69.2	3.6	23.6

● 仕入価格DIは、不動産業を除く業種でプラスとなり、全業種でプラス19.2となった。来期見通しは全業種でプラス23.6となっている。

■在庫■

在庫DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	過剰傾向	適正	不足傾向	DI	過剰傾向	適正
製造業	6.8	8.1	82.4	9.5	▲ 1.4	5.4	87.8	6.8	▲ 1.4
建設業	2.5	4.5	93.2	2.3	2.2	2.3	97.7	0.0	2.3
卸売業	3.5	9.7	90.3	0.0	9.7	6.5	90.3	3.2	3.3
小売業	20.0	20.4	77.6	2.0	18.4	12.2	81.6	6.1	6.1
不動産業	▲ 18.2	18.2	72.7	9.1	9.1	18.2	72.7	9.1	9.1
総計	7.8	11.0	84.2	4.8	6.2	7.2	88.0	4.8	2.4

●在庫DIは、今期は、全業種で8割超が適正と回答し、全業種でプラス6.2となった。来期見通しは、全業種で約9割が適正と回答し、全業種でプラス2.4となっている。

■受注残■

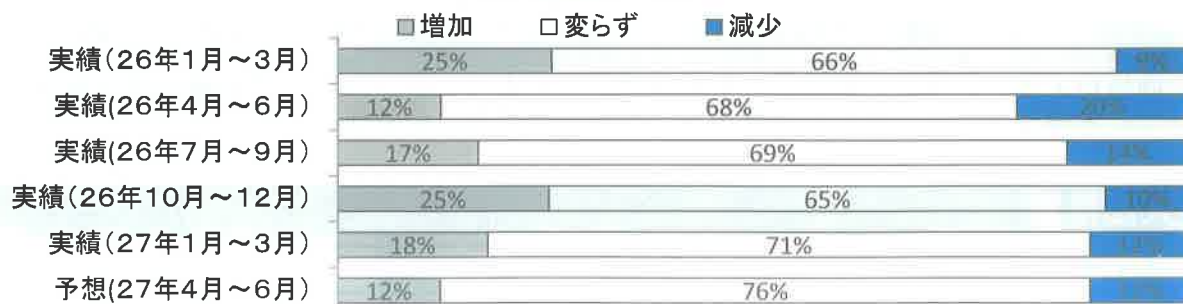
受注残DI	前期	今期実績				来期見通し			
		業種別	DI	増加	変わらず	減少	DI	増加	変わらず
製造業	31.0	27.0	37.8	35.1	▲ 8.1	28.4	39.2	32.4	▲ 4.0
建設業	26.8	25.0	38.6	36.4	▲ 11.4	40.9	34.1	25.0	15.9
総計	29.5	26.3	38.1	35.6	▲ 9.3	33.1	37.3	29.7	3.4

●製造業の受注残DIは、今期は前期比39.1ポイントと大幅に下降しマイナス8.1となり、来期見通しはマイナス4.0となっている。

●建設業の受注残DIは、今期は前期比38.2ポイントと大幅に下降しマイナス11.4となり、来期見通しはプラス15.9となっている。

■雇用面の動き■

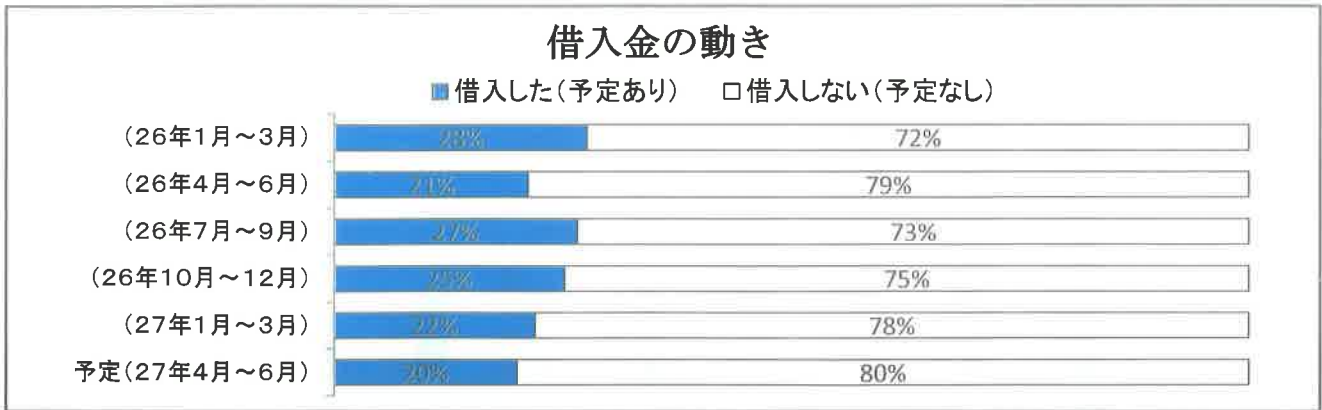
前期比残業時間



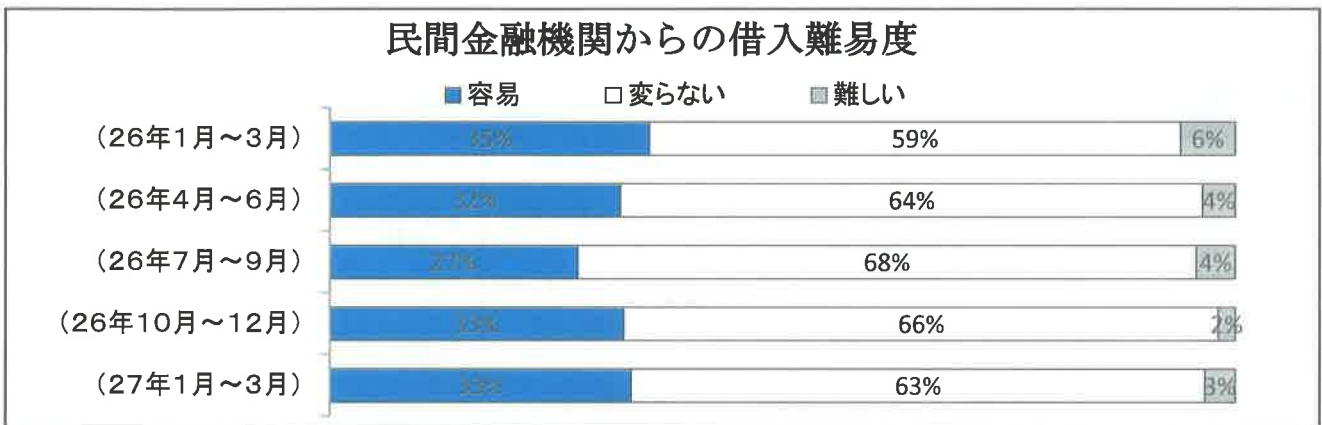
人手実績と予想



借入金の動き・難易度



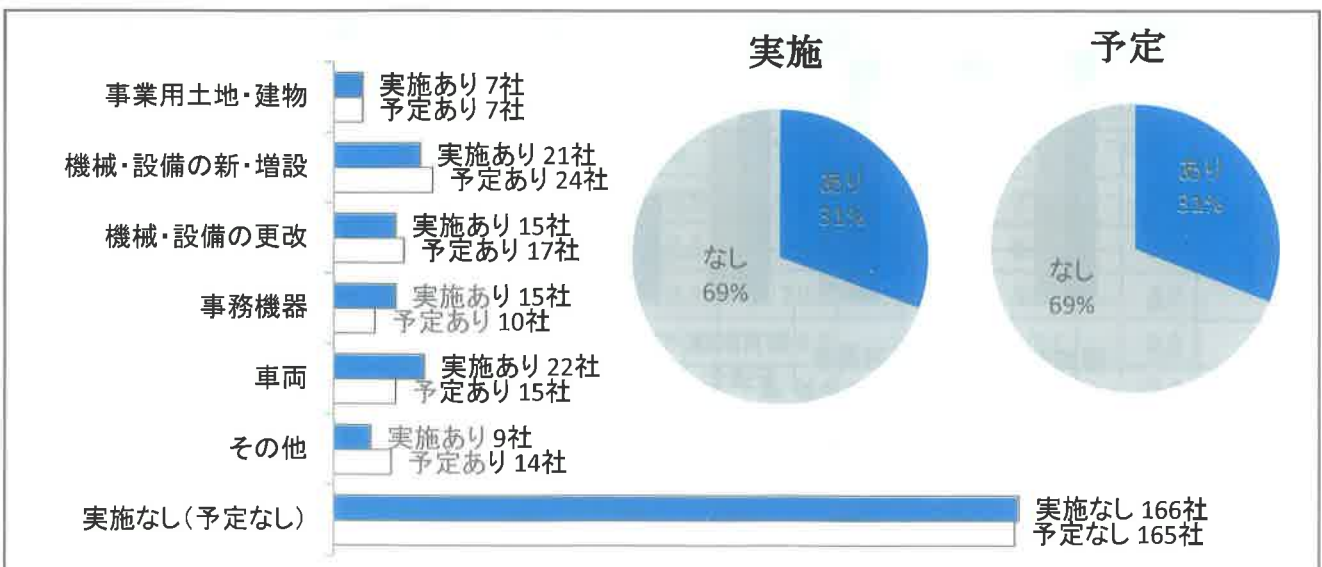
●借入を実施(27年1月～3月)した企業の割合は、昨年同期比6ポイント減少した。借入を予定(27年4月～6月)している企業の割合は、昨年同期実績と大きな変化はなく1ポイント減少となっている。



●借入の難易度(27年1月～3月)は、『容易』と回答した企業の割合が昨年同期比2ポイント減少し、『難しい』と回答した企業の割合は、昨年同期比3ポイント減少となっている。

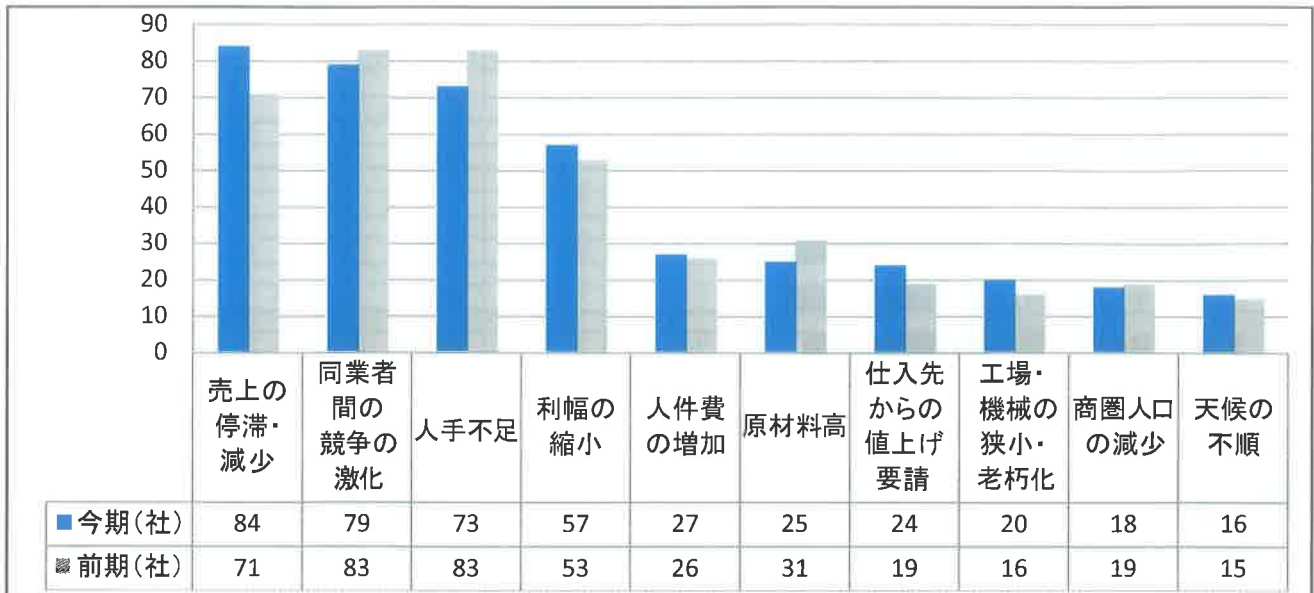
設備投資の実施(27年1月～3月)と予定(27年4月～6月)

●全業種(除く不動産業:有効回答計239社)(複数回答)



■ 経営上の問題点 ■

● 全業種(複数回答)

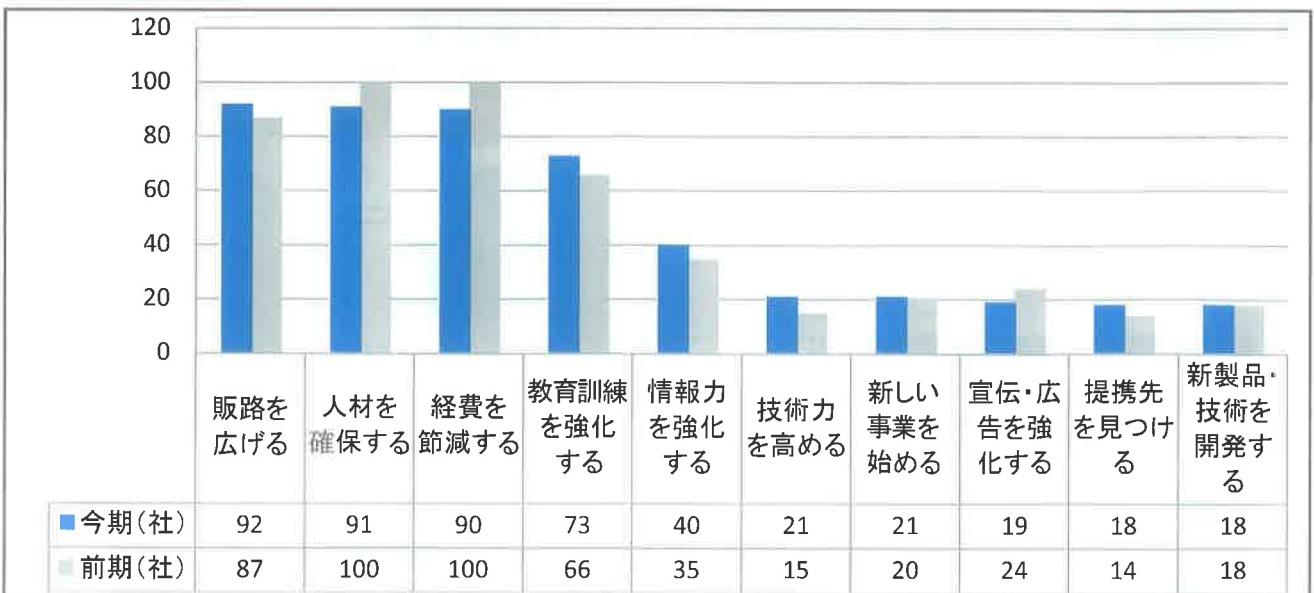


● 業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	売上の停滞・減少	16.8	同業者間の競争の激化	17.5	同業者間の競争の激化	17.3	同業者間の競争の激化	13.3	同業者間の競争の激化	28.6	人手不足	21.7
2位	原材料高	13.6	売上の停滞・減少	14.4	利幅の縮小	13.3	売上の停滞・減少	12.5	商品物件の不足	19.0	同業者間の競争の激化	14.1
3位	工場・機械の狭小・老朽化	10.9	人手不足	13.4	売上の停滞・減少	12.0	商業圏人口の減少	12.5	大手企業との競争の激化	14.3	売上の停滞・減少	13.0
4位	人手不足	10.3	利幅の縮小	11.3	仕入先からの値上げ要請	10.7	利幅の縮小	11.7	売上の停滞・減少	14.3	人件費の増加	9.8
5位	同業者間の競争の激化	7.6	材料価格の上昇	10.3	取引先の減少	9.3	人手不足	11.7	問題なし	9.5	利幅の縮小	8.7

■ 当面の重点経営施策 ■

● 全業種(複数回答)



●業種別(複数回答)

	製造業	%	建設業	%	卸売業	%	小売業	%	不動産業	%	サービス業	%
1位	販路を広げる	21.9	技術力を高める	19.4	販路を広げる	21.3	教育訓練を強化する	18.4	情報力を強化する	21.7	人材を確保する	19.0
2位	人材を確保する	16.9	販路を広げる	18.5	経費を節減する	16.0	経費を節減する	16.0	宣伝・広告を強化する	21.7	教育訓練を強化する	15.2
3位	経費を節減する	11.2	経費を節減する	18.5	教育訓練を強化する	13.3	人材を確保する	12.8	販路を広げる	13.0	経費を節減する	14.3
4位	新製品・技術を開発する	10.1	人材を確保する	13.9	人材を確保する	12.0	品揃えを改善する	12.0	経費を節減する	13.0	販路を広げる	13.3
5位	情報力を強化する	9.6	情報力を強化する	11.1	提携先を見つける	8.0	店舗・設備を改装する	8.8	不動産の有効活用を図る	8.7	技術力を強化する	9.5

■調査員の調査コメントから■

○昨年同期は、消費増税、耐震工事やウィンドウズX Pの保守終了等の特需による売上の増加があったが、今期は平年の売上状況となっているとの声が多かった。

○真庭地域で4月から稼働する木質バイオマス発電所へ未利用間伐材、木皮やチップ等が搬入されたり、木材業者の工場に在庫が増えていた。また、バイオマス原料が地域材だけでは不足するのではないかととの声もあった。

○ものづくり補助金により機械設備が搬入され、人員の募集をするも、期待する人材からの応募がないとの声が複数あった。

○仕入先・納入先から材料価格・仕入価格の更なる値上げ要請を受けているとの声が多く、対応策として4月から仕入価格等上昇分を販売価格に転嫁するとの声が卸売業や小売業では複数聞かれた。

○製造業では、外国人労働者を増やす動きが広がっている。中国に代わってインドネシアやベトナムといった国からの雇用を増やしている企業があった。

○建設業では、不動産会社と連携して空家をリフォームし、若年層をターゲットに販売するといった新たな取り組みを行っているとの声が聞かれた。

○小売業では、岡山駅前的大型ショッピングセンター開業による一時的な売上低下は見られたものの既に回復基調にあり影響は限定的なものであったとの声が聞かれた。

以上

■調査要領■

■調査対象■

1. 調査対象

当金庫営業エリア内の中小企業

2. 調査時期

2015年2月23日～3月6日

3. 調査方法

当金庫職員による訪問聞き取り調査

4. 分析方法

DIを中心に分析

5. 季節変動について

業況判断DIは、毎年1～3月期に低下し、4～6月期に上昇するという季節的な変動(季節変動)がありますが、当金庫の分析においては季節変動の調整(季節調整)は行っていません。

※ 本レポートは、標記時点における情報提供を目的としています。

また、掲載資料は正確性・安全性を保証するものではありません。

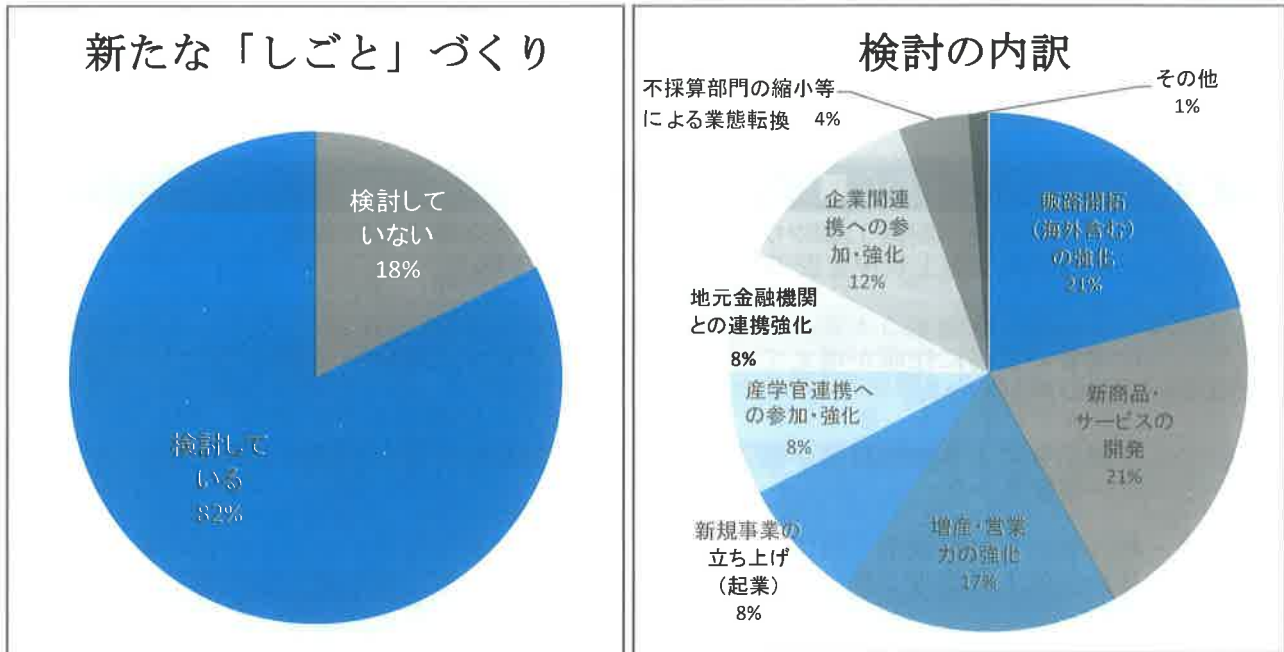
地区別	企業数	比率
津山鏡野地域	156	62.4%
真庭地域	50	20.0%
美作勝央地域	44	17.6%
総計	250	100.0%

業種別	企業数	比率
製造業	74	29.6%
建設業	44	17.6%
卸売業	31	12.4%
小売業	49	19.6%
不動産業	11	4.4%
サービス業	41	16.4%
総計	250	100.0%

従業員規模別	企業数	比率
1～4人	44	17.6%
5～9人	65	26.0%
10～19人	51	20.4%
20～29人	32	12.8%
30～39人	16	6.4%
40～49人	12	4.8%
50～99人	12	4.8%
100～199人	13	5.2%
200～300人	5	2.0%
総計	250	100.0%

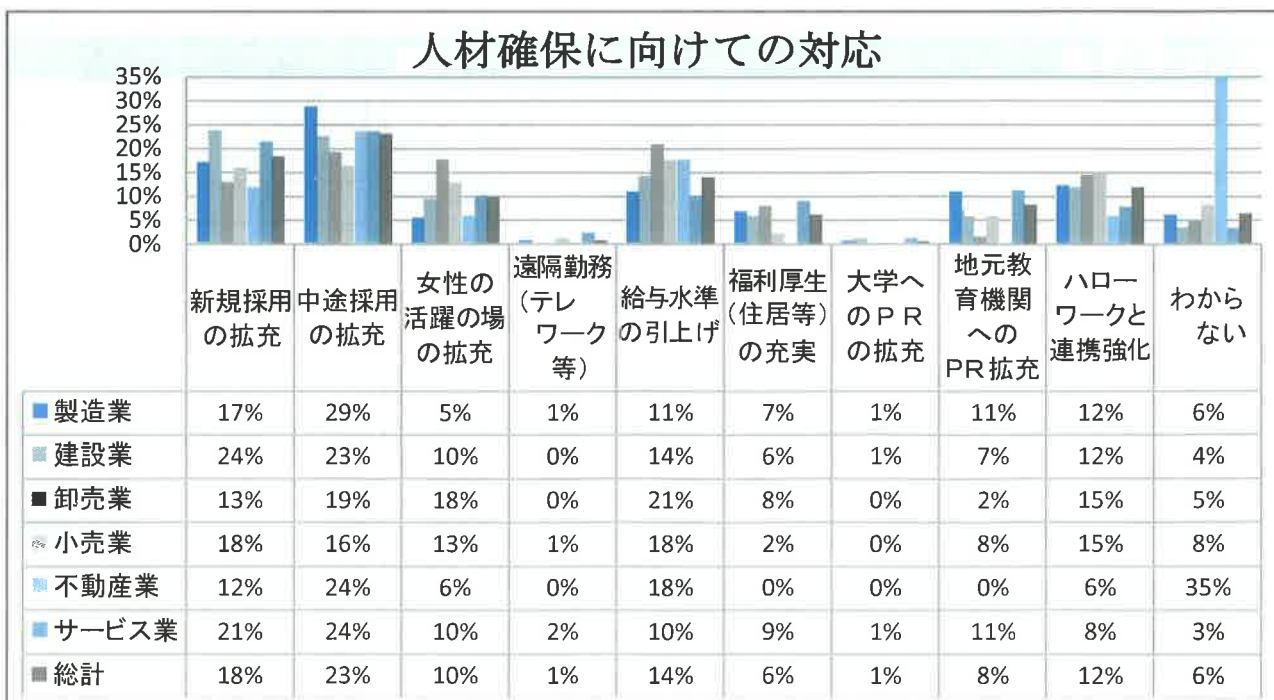
☆☆☆ 特別調査 ☆☆☆
特別調査-「『まち・ひと・しごと創生』と中小企業」

問1. 「地方における安定した雇用（しごと）を創出する」という基本目標のなかで、「力強い地域産業の競争力強化」の必要性が示されています。貴社における新たな「しごと」づくりにあてはまるものを選んでお答えください。（複数回答）



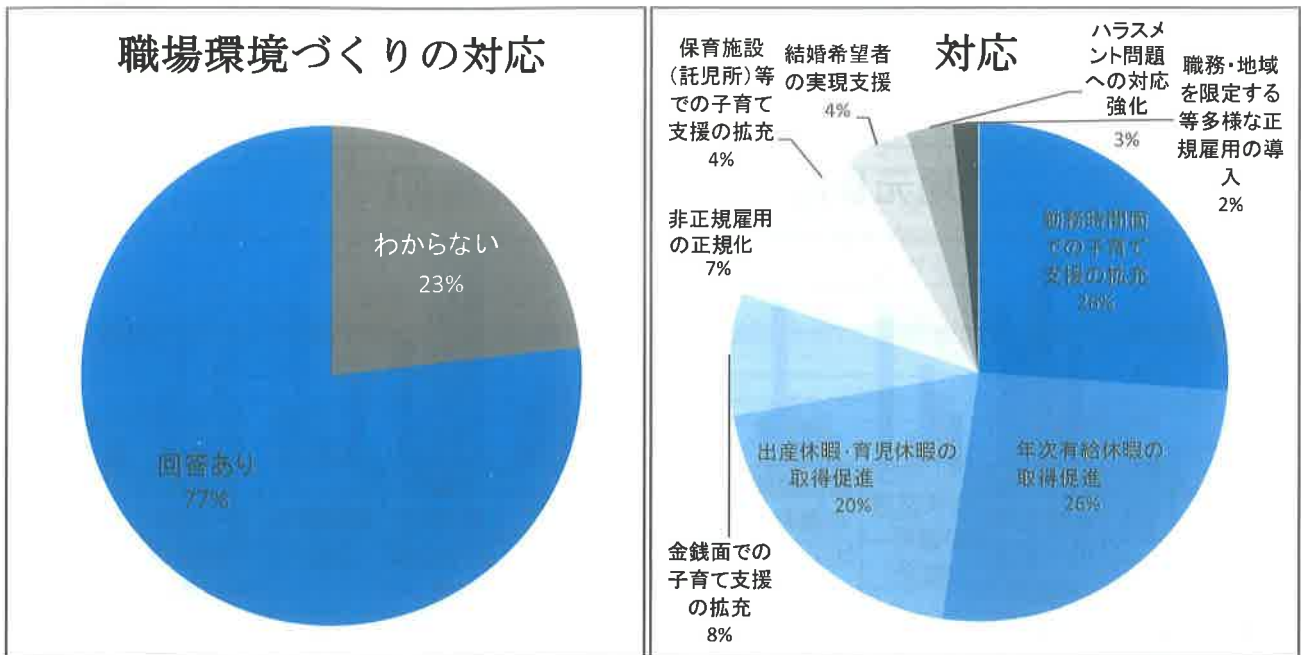
●新たな「しごと」づくりについては、「検討している」が82%と、「検討していない」の18%を大きく上回った。検討の内訳としては、「販路開拓（海外を含む）の強化」と「新商品・サービスの開発」が21%と最も高く、以下、「増産・営業力の強化」が17%と続いた。

問2. 「地方への新しいひとの流れをつくる」という基本目標が掲げられているなかで、貴社では、今後の人材の確保に向けてどのような対応を考えられていますか。（複数回答）



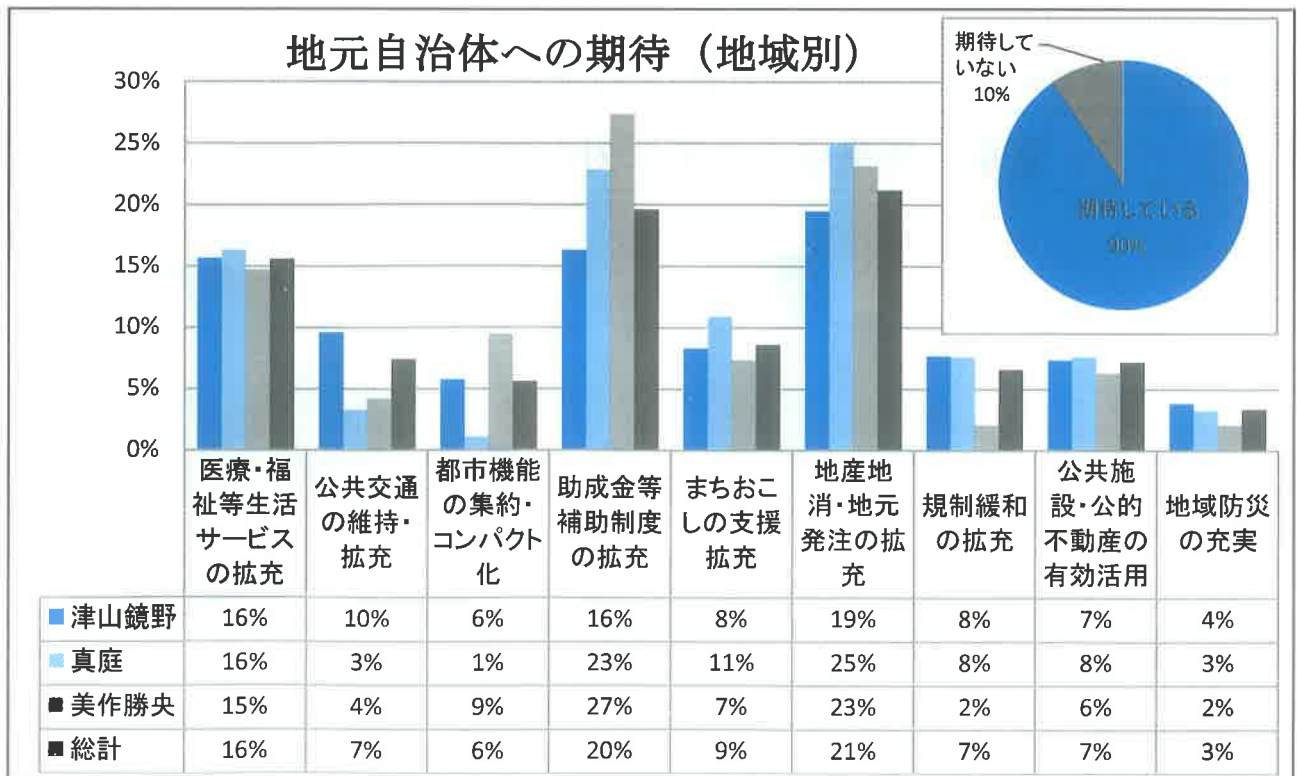
●人材確保への対応については、「中途採用の拡充」が23%と最も高く、以下、「新規採用の拡充」が18%、「給与水準の引上げ」が14%と続いた。

問3. 「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」という基本目標が示されるなかで、貴社では、子育て世代に対応するため、今後の職場環境づくりでどのような対応を考えられていますか。（複数回答）



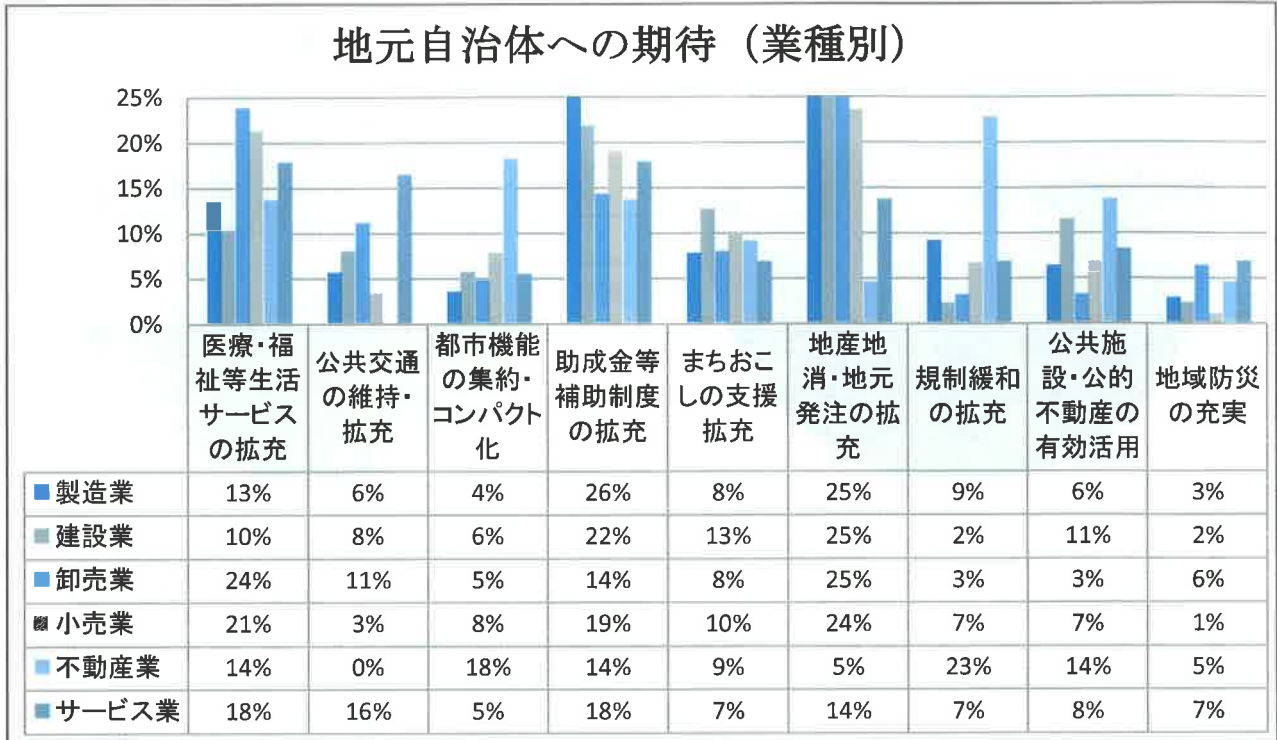
- 子育て世代対応のための職場環境づくりについては、77%の企業から回答があり、「勤務時間面での子育て支援の拡充」と「年次有給休暇の取得促進」が26%と最も高く、次いで「出産休暇・育児休暇の取得促進」が20%と続いた。
- 「年次有給休暇の取得促進」と「出産休暇・育児休暇の取得促進」は、当たり前取得させているとの回答が多くあった。

問4. 「時代にあった地域をつくり 安心な暮らしを守るとともに 地域と地域を連携する」という基本目標のなかで、地域の課題は地域で解決する観点からの各種施策が示されています。貴社では、こうした施策全般に対して、地元自治体にどのようなことを期待していますか。（複数回答）



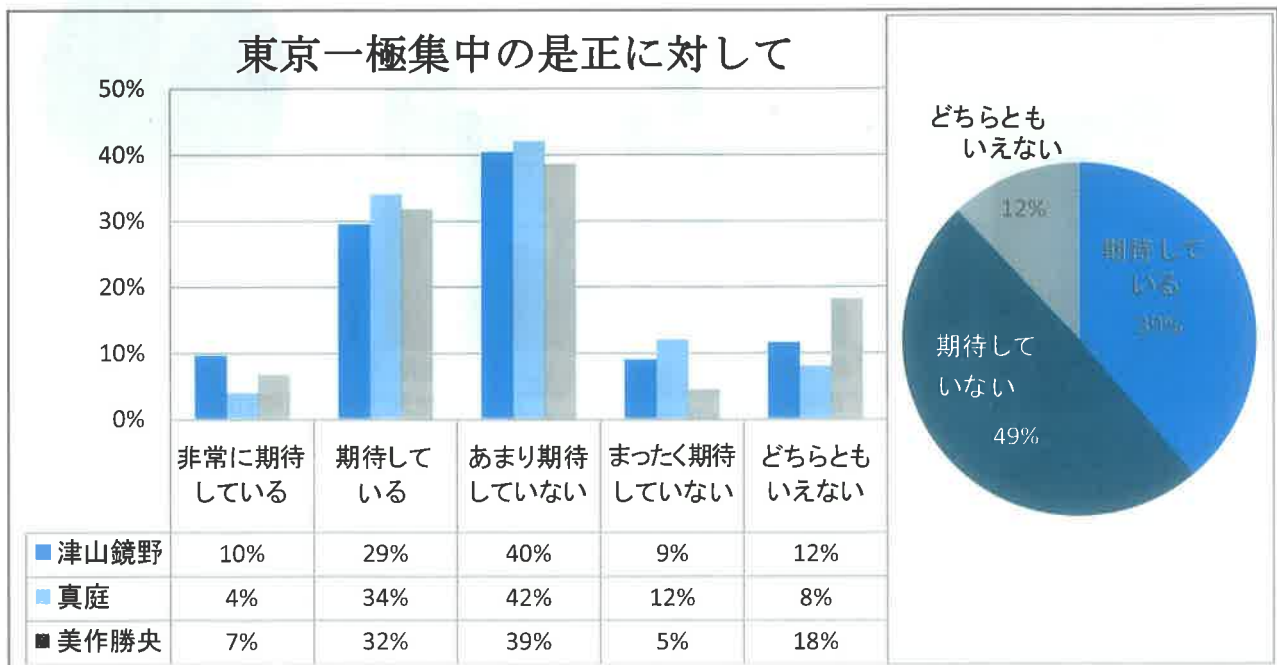
● 地元自治体への期待については、「期待している」が90%と「期待していない」の10%を大きく上回った。期待の内訳では、「地産地消・地元発注の拡充」が21%と最も高く、以下、「助成金等補助制度の拡充」が20%、「医療・福祉等生活サービスの充実」が16%と続いた。

● 津山鏡野地区と真庭地区では、「地産地消・地元発注の拡充」が、美作勝英地区では「助成金等補助制度の拡充」が最も期待されている。

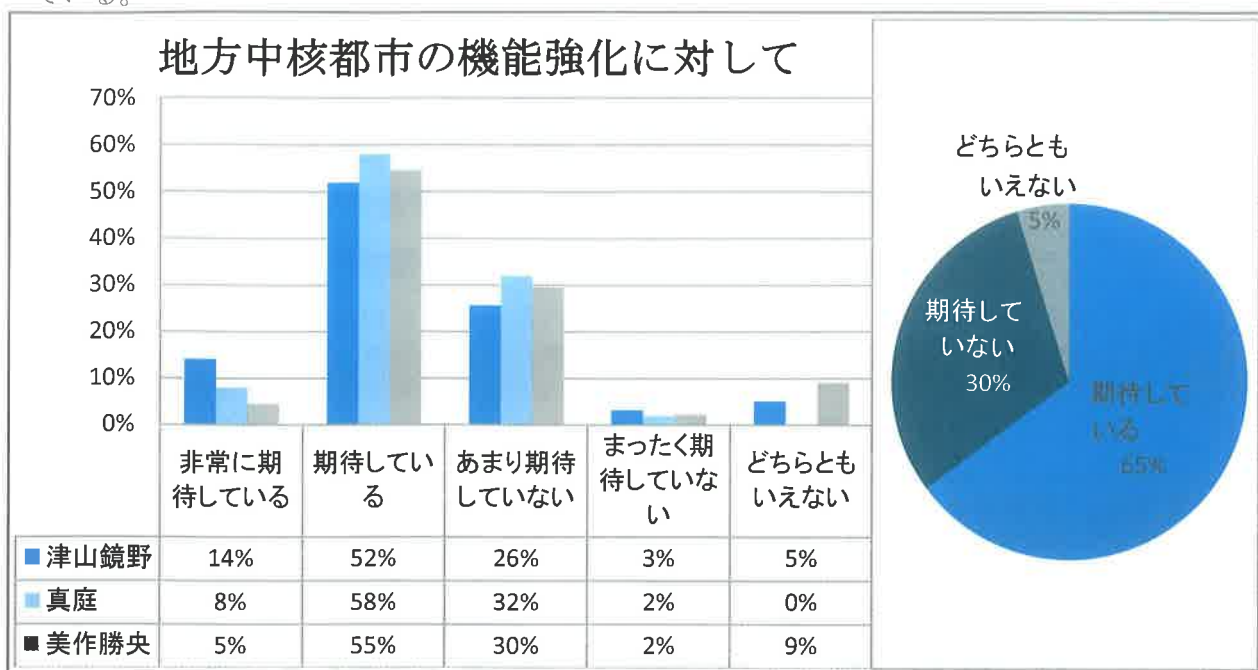


● 製造業では、「助成金等補助制度の拡充」、不動産業では「規制緩和の拡充」、サービス業では「医療・福祉等生活サービスの充実」、その他の業種では「地産地消・地元発注の拡充」が最も期待されている。

問5. ビジョンと戦略では、「東京一極集中の是正」が大きな克服課題の一つとされていますが、「地方中核都市」に大都市圏への人口流出を食い止める機能を期待していますか。



●東京一極集中の是正に対しては、「期待していない」との回答が、約半数の49%となっている。

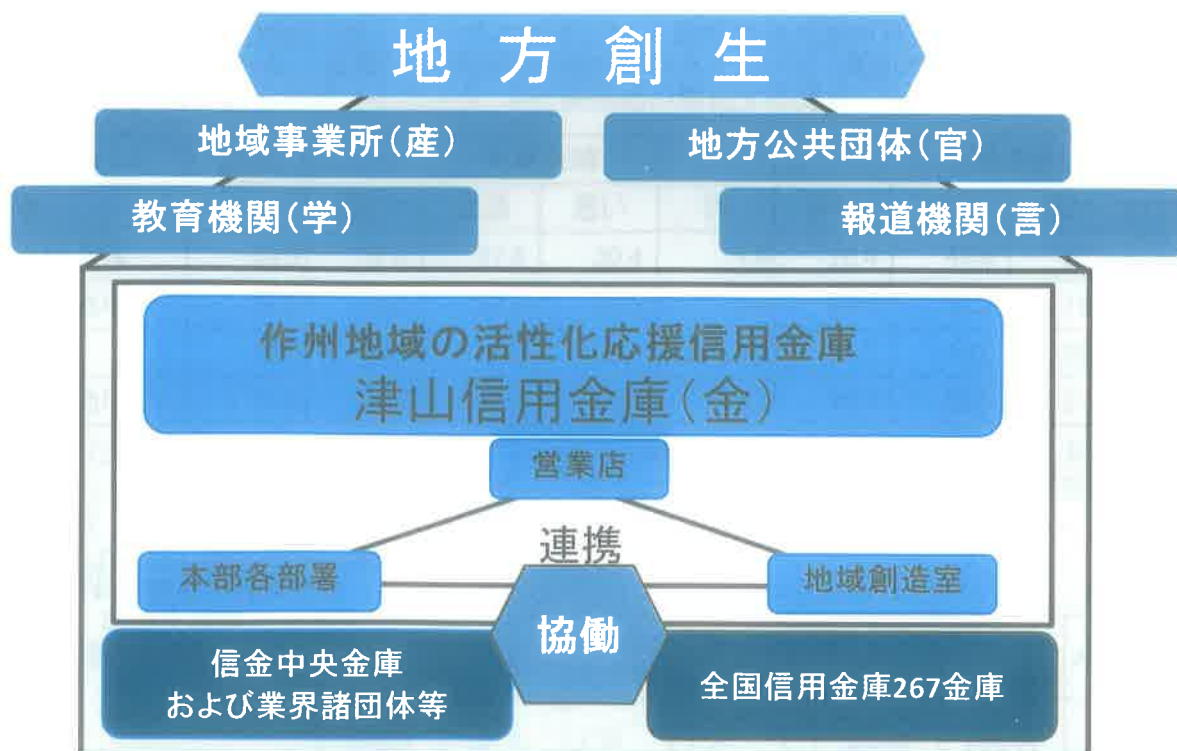


●地方中核都市の機能強化に対しては「期待している」との回答が65%となり、地方中核都市への期待の高さが伺える結果となりました。

〈津山信用金庫の地方創世への取り組み〉

当金庫では、営業店を窓口、営業店と本部（地域創造室を中心に関係各部署）とが連携し、信金業界のネットワーク、関係機関と協働して作州地域の「地方創生」に取り組んでいます。今後、「地域事業所」「教育機関」「地方公共団体」「報道機関」との連携をより一層深め、「産学官民言金」が一体となって、今まで以上に作州地域の「地方創生」に取り組んでまいります。

○地方創生への取組み体制



(担当：藤本、岡部)

作州地域の活性化応援信用金庫



作州地域のパートナー・よろず相談信用金庫

津山信用金庫



岡山県津山市山下30-15
0868-22-4121
営業支援部
(担当：杉山、岡部)